

2022年度PPP/PFI官民連携プラットフォーム 第2回 山口・広島・北九州3地域合同 PPP/PFIセミナー・官民対話

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

WEBと現地会場のハイブリッド開催

参加無料

山口フィナンシャルグループの子会社であるYMFG ZONEプランニングは、山口・広島・北九州地域において地元自治体や地元金融機関を主要メンバーとする「PPP/PFI官民連携プラットフォーム」を立ち上げ、2019年度から内閣府・国土交通省より「PPP/PFI地域プラットフォーム協定」の選定を受けています。同プラットフォームを活用して、ノウハウ向上や機運醸成を図るセミナーの実施に加え、「官民対話（サウンディング）」をプログラムの柱とすることで、案件創出を促し、民間主導による活性化につなげてまいります。

2023年1月13日（金）13:00～17:00 ※12:30から受付開始

第一部 PPP/PFIセミナー

13:05～

「“民官”が“協創”で目指す「にぎわい再創出」～山陽小野田LABVプロジェクト～」

山口県山陽小野田市 企画部長 和西 禎行 氏

第二部 パネルディスカッション

13:45～

テーマ①:「官民連携事業の取組意義について」 テーマ②:「案件形成の方法について」

パネリスト

河村 直哉氏（国土交通省 総合政策局社会資本整備政策課 官民連携推進官）

和西 禎行氏（山口県山陽小野田市 企画部長）

山本 計至氏（株式会社合人社計画研究所 取締役 経営企画本部長）

モデレーター

藏重 嘉伸（株式会社YMFG ZONEプランニング 代表取締役）

第三部 官民対話（オープン型・クローズ型）

14:45～

官民対話 3自治体 3案件（下関市、安芸太田町、廿日市市）

第四部 個別相談会（自治体のみ）

16:00～

YMFG ZONEプランニングによる自治体向けPPP/PFI相談会

※個別ブースを設けて、地方公共団体のご担当者様のPPP/PFI事業に関するご相談を受け付けます。

WEB、現地会場どちらも対応可能となっております。

開催形式

WEB及び現地会場のハイブリッド形式にて開催

※新型コロナウイルスの状況によりWEB開催に変更する可能性がありますので、予めご了承ください。

現地会場：海峡メッセ下関8F 801大会議室（山口県下関市豊前田町3-3-1）

定員

WEB200名、現地会場70名（※先着順）

申込方法

右のQRコードまたは、下記URLからWEB申し込み

<https://forms.office.com/r/XQsmw4AatB>

申込締切

2023年1月10日（火）17:00迄

問合せ

YMFG ZONEプランニング 担当：富原、元廣

TEL 083-223-4202

メールアドレス ppppfi@ymfg.ym-zop.co.jp

- 主催：山口フィナンシャルグループ、山口銀行、もみじ銀行、北九州銀行、YMFG ZONEプランニング、山口県、広島県、下関市
- 共催：北九州市（予定）
- 後援：内閣府（予定）、国土交通省（予定）

※開催時間・内容は予定です。プログラムの進捗や新型コロナウイルスの状況により変更になる場合があります。

セミナー・官民対話
参加申込



『“民官”が“協創”で目指す「にぎわい再創出」』

～山陽小野田LABVプロジェクト～

山口県山陽小野田市 企画部長 和西 禎行 氏

【プロフィール】

2018年企画部企画課に異動し、国内では導入事例のない「LABV」を担当。2019年新設の「PPP/PFI推進室」の室長を経験し、PFI導入実績“ゼロ”の自治体で、「LABV」に携わった経験をベースに、“官民連携”事業の庁内“横展開”に積極的に取り組んでいます。



13:45～14:30 パネルディスカッション

テーマ①：『官民連携事業の取組意義』 テーマ②：『案件形成の方法について』

<パネリスト>

河村 直哉氏

(国土交通省 総合政策局社会資本整備政策課 官民連携推進官)

和西 禎行氏

(山口県山陽小野田市 企画部長)

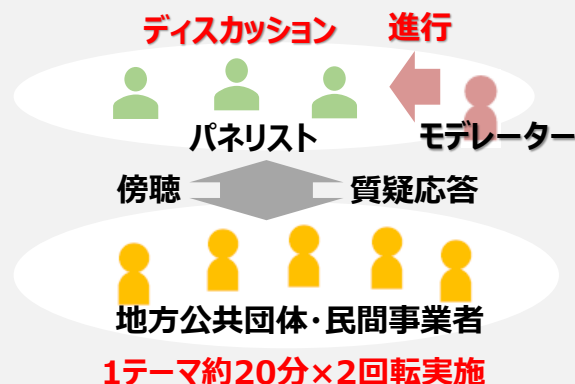
山本 計至氏

(株式会社合人社計画研究所 取締役 経営企画本部長)

<モデレーター>

藏重 嘉伸

(株式会社YMFG ZONEプランニング 代表取締役)



14:45～ 官民対話（オープン型・クローズ型）

※オープン型官民対話では、複数の事業者が同時に参加頂き、提案・助言などの意見交換をして頂きます。

※クローズ型官民対話の実施方法やタイムスケジュールについては、参加申込いただいた方宛に後日ご案内予定です。

オープン型官民対話① 14:45～

自治体	下関市	テーマ	下関市立幡生保育園民営化事業
【概要】 下関市立幡生保育園の運営を民間に委託し、こども園（幼保連携型認定こども園）化する場合の実現可能性について民間事業者の意見をお伺いしたい。			
【下関市が聞きたいこと】 ①事業に参画意欲のある事業者がいるか、②どのような状況であれば事業を引き継いでもらえるか、③スケジュールの希望について等。			

【下関市が聞きたいこと】

オープン型官民対話② 16:00～

自治体	安芸太田町	テーマ	旧殿賀小学校校舎の利用について
【概要】 昭和58年に整備され40年近く学校施設として親しまれてきた殿賀小学校は、平成28年3月に閉校し、現在に至るまで建物の活用の可能性について、地域住民と話し合いを継続してきたが、いい結論に至っていない。資産活用の可能性やその前提条件などについて、民間事業者の意見をお伺いしたい。			
【安芸太田町が聞きたいこと】 町や地域の意向を踏まえながら、どのような条件であれば民間事業者の公募に繋がっていくのか等。			

【安芸太田町が聞きたいこと】

クローズ型官民対話③

自治体	廿日市市	テーマ	新宮中央公園官民連携型賑わい拠点創出事業
【概要】 Park-PFI制度を活用したにぎわいの創出や指定管理者制度を活用した公園全体の管理運営、周辺の公共施設との包括的な管理運営など民間活力の導入を検討するもの。			
【廿日市市が聞きたいこと】 ①特定公園施設として整備する施設について、噴水の改修を検討している。その他、整備を希望する施設や、費用負担について。②公園の維持管理について、指定管理者制度の導入する場合の指定管理料の考え方について。			

【廿日市市が聞きたいこと】

※各テーマの詳細、補足資料等については、YMFG ZONEプランニングのホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

(URL : <https://www.ym-zop.co.jp/>)

官民対話（サウンディング）の実施イメージ

官民対話（サウンディング）とは、民間事業者との意見交換等を通じ、事業に対して様々なアイデアや意見を把握する調査です。

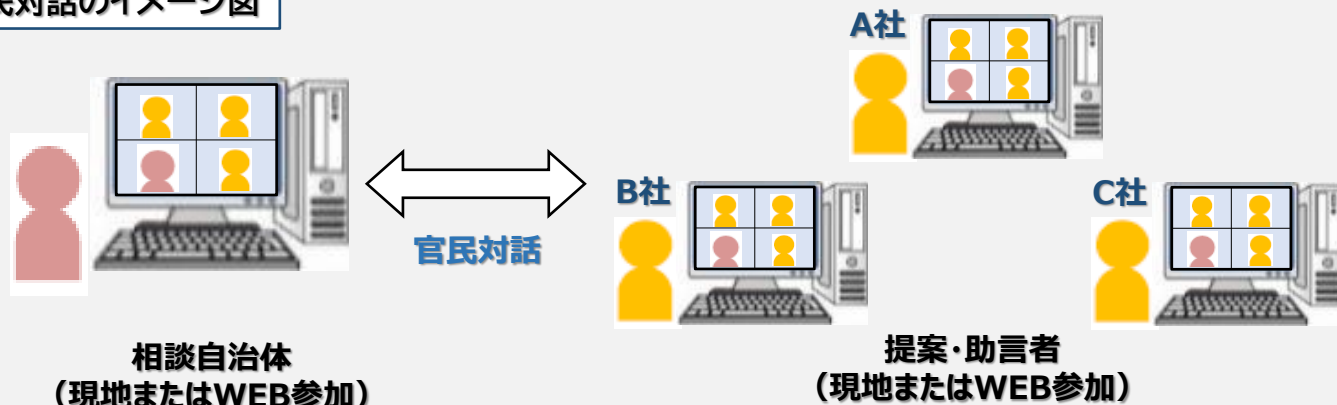
市場性の有無や実現可能性の把握、行政だけでは気付きにくい課題の把握といった効果が期待できます。

官民対話 進め方

- ①参加者は、「相談自治体」、「提案者・助言者(民間事業者等)」、「傍聴者」となります。
- ②相談自治体から事業概要等の説明後に、提案者・助言者からアイデア出し等を行います。

※**現地・WEBのハイブリッドで実施します。**

官民対話のイメージ図



官民対話の実施状況(WEB接続イメージ)



官民対話 申込

1. 官民対話は、②ページに記載しているテーマにて行います。関心のあるテーマについて、提案者・助言者として積極的にご参加ください。
申込多数のテーマは、相談自治体および申込事業者とで別日を調整させていただく場合があります。
2. **官民対話への提案者・助言者としての参加は事前申込が必要となります。**また、ご参加頂く提案者・助言者の会社名等について、官民対話参加者間で共有させていただきますので予めご了承ください。

現地会場のご案内

<会場名>

海峡メッセ下関（山口県下関市豊前田町3-3-1）

<交通アクセス>

- 車でお越しの方
下関ICから15分。料金所から“下関市街”方面へ。
- バスでお越しの方
JR下関駅からバス1分。「豊前田」下車徒歩2分。
- 電車でお越しの方
JR下関駅から徒歩7分。

<駐車場>

- 第1駐車場：普通車150台（30分100円）
- 第2駐車場：普通車 31台（30分100円）

※海峡ゆめタワーにご入場のお客様は、
受付にて駐車サービス券をご用意しております。

駐車場情報

